

地域の脱炭素化に向けた当金庫の取組み

この街とともに100年。
感謝の気持ちを、未来の力に。



KAWASHIN 100th Anniversary

2022年11月9日

川崎信用金庫総合企画部
山本 浩之

川崎信用金庫の概要



川崎信用金庫

本店所在地：川崎市川崎区砂子2-11-1

店舗：川崎市を中心に横浜市大田区含めて56店舗

設立：1923年7月(来年度、創立100周年)

従業員数：1,256名

預金：22,591億円 貸出金：13,144億円

※2022年3月末現在



【経営方針（抜粋）】

1. 地域と共に歩む協同組織金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たし、**地域社会の発展に貢献**します。

当金庫と地域の持続的な発展は一心同体

脱炭素の取組のきっかけ

脱炭素に向けた枠組みへ参加し、意思や目標を表明

【再エネ100宣言RE Action】



【かわさきカーボンゼロチャレンジ2050】



脱炭素の取組のきっかけ

【かながわSDGsパートナー】



KANAGAWA SDGs PARTNER
神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。



【かながわプラごみゼロ宣言】



【かわさきSDGsパートナー】



かわさきSDGs
ゴールドパートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

【おおたクールアクション】



バックカスティングで徐々に取組みを開始

プラスチックごみの削減

マイボトルの推奨とごみの分別



- 水道管直結ウォーターサーバーを全事業所に設置
- 職員へマイボトルを配布（自販機の非ペットボトル可）
- 分別回収ボックスによる分別の徹底

⇒職員一人一人の意識向上図り、脱炭素に向けて
ペットボトルやプラごみを削減

店舗の省エネ化

省エネ性能を追求した店舗への建替え（百合丘支店）



- 「ZEB Ready」 認証取得、「BELS」 最高ランク5取得
- 再生可能エネルギー100%の電力プラン
- ロビーの一部に国産木材を使い木質化
- 川崎市スマートライフスタイル大賞 最優秀賞受賞

⇒使用電力量を約40%削減（再エネ利用）

⇒その他既存の各店舗もLED化等による省エネ化を進行中

太陽光パネルの設置

創エネ・太陽光パネルの設置



- ・ 事務センターに太陽光パネルを設置し自家利用
(年間予測発電量：31,631KW h)

⇒本建物で使用する電力の9%を賄う

⇒今年度より既存の各店舗にも設置計画を進行中

現在の想定再エネ率

省エネ、創エネ、再エネの各取組みにより、

約 36%

※昨年度実績値より試算

(総消費電力6.1GWh、再エネ電力2.2GWh)

2030年度の目標としていた15%を前倒しでクリア
2050年度の100%達成を目指して取組み進行中

地域の脱炭素化に向けた取組み

【取引先の脱炭素化に向けた金融支援】



●カーボンゼロを支援する金融商品

- かわしんカーボンゼロ・アシスト2050
- かわしんカーボンゼロ・アパートローン
- かわしんカーボンゼロ・住宅ローン
- かわしんカーボンゼロ・カーライフローン
- かわしんカーボンゼロアシスト定期預金

●その他の環境金融事業

- 環境省「地域ESG融資促進利子補給事業」指定金融機関
- 経産省「省エネルギー設備投資に係る利子補給金事業」指定金融機関

～持続可能な社会を作るためにお金の流れを変える～

地域の脱炭素化に向けた取組み

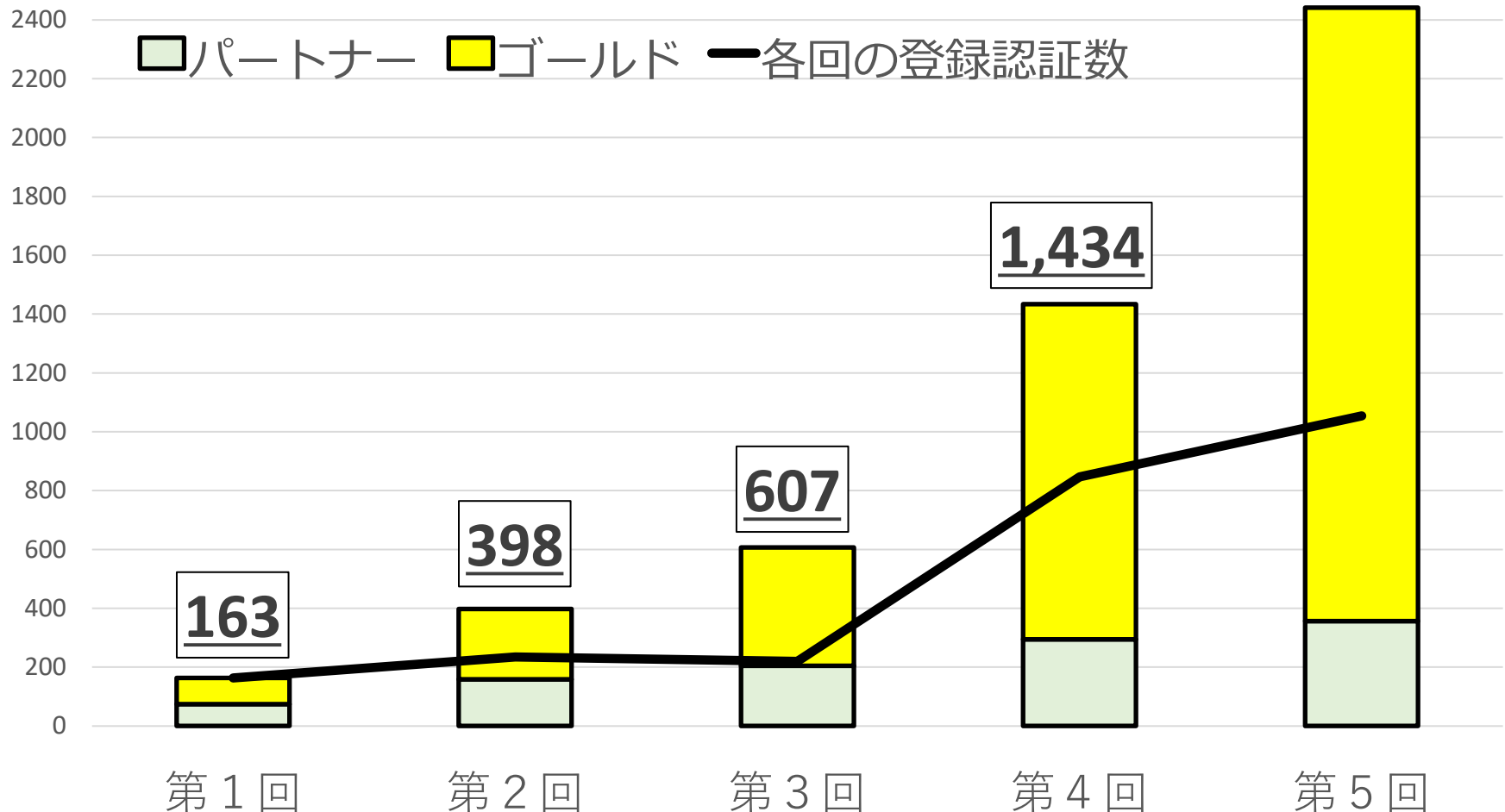
【取引先の脱炭素化に向けた経営支援】

- **カーボンゼロに向けた支援メニュー**
 - ・ 省エネ診断の支援
 - ・ 再生可能エネルギー電力の紹介
- **今年度の新たな取組み**
 - ・ 省エネ設備の導入支援
 - ・ 川崎カーボンディスクロージャーアクション (KCDA)
 - ・ エコアクション21認証取得プログラム
- **行政と連携したその他取組み**
 - ・ 脱炭素アクションみぞのくち (脱炭素先行地域に選定)
 - ・ 地域新電力
 - ・ 川崎市ESGファイナンスモデル事業

地域の皆様と一緒にカーボンゼロを目指す！

カーボンゼロを一緒に目指す地域のパートナー

川崎市SDGs登録-認証制度における登録-認証者数の推移



川崎市SDGsプラットフォームを川崎市と共同運営

17 パートナシップで
目標を達成しよう



川崎市SDGsプラットフォーム

事務局：川崎市・川崎信用金庫

川崎商工会議所、川崎青年会議所、川崎市産業振興財団、
かわさき市民活動センター、川崎市地球温暖化防止活動推進センター

セミナー・勉強会の開催

参加団体の取組支援

情報共有・交流の促進

優良事例の共有
(仮称)川崎SDGs大賞

団体間のマッチング

市民への
広報や
啓発活動も

プラットフォームを通じて
ネットワーク化

登録・認証事業者

川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」

プラットフォームを通し
て、官民金学が一体と
なって市内のSDGs活動
を活性化

つなげる・共有する



【脱炭素セミナー】



【かわさきSDGs大賞】

⇒情報発信し、パートナー間の協業を促す

⇒優良事例を表彰し、他者を含め、さらなる取組みを促す